《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	音楽基礎演習				
担当者氏名	丸井　理恵、荒瀬　紘子				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎　専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》
音楽は、豊かな表現力を培う情操教育の一端を担い、また幼児の成長を支える。それらを促すために、子ども達の音楽活動を指導する指導者自身にも豊かな音楽的鑑賞力・表現力が必要となる。この授業では、保育士、幼稚園・小学校教諭として音楽活動を行う上で必要とされる音楽的基礎技能を、音楽理論を中心に個々にピアノと向き合い、音と関わりながら、その必要性を知る事を目標とする。

《授業の到達目標》
音楽理論とピアノ奏法を、音を通して学び、音楽的基礎技能を知識だけでなく、感覚的に身につける。演奏力、聴く力、音楽的基礎技能を生かし、幼児、児童を意識した弾き歌い課題を習得する。

《成績評価の方法》
・平常点（受講態度及び到達度）・・・30%
・筆記テスト（音楽理論）・・・40%
・授業内実技テスト及び弾き歌い発表・・・30%

《テキスト》
学内テキスト、供田 武嘉津「学生の音楽通論」音楽之友社
松山 祐士「こどもの歌　名曲アルバム」ドレミ楽譜出版社

《参考図書》
必要資料等は、授業内で随時配布、または指示、紹介する。
各自、配布プリント用ファイル及び五線ノートを用意する事。

《授業時間外学習》
音楽的基礎技能は、読譜力に合わせ表現力を豊かにするために学習するものである。学んだことを実技に反映する事が出来るよう個々に復習し、学習を積み重ねていく。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション 講義ガイダンス	個々の音楽的知識を把握する。
2	音楽理論：大譜表と音名	読譜の仕方、大譜表の音名と鍵盤との関係を学ぶ。
3	音楽理論：音名と変化記号	日本音名やアメリカ音名、複数の音名を指導する。また、変化記号を用いることで演奏する鍵盤の位置が変わる事を鍵盤と関わらせて学ぶ。
4	音楽理論：鍵盤と異名同音	同じ音でも、複数の音名をもつ事を学ぶ。
5	音楽理論：音名と鍵盤の復習	音と関わらせて音名が理解できているかを復習する。
6	音楽理論：まとめテスト	５回の項目を鍵盤、音を通して理解できているか個々の理解力を測る
7	音楽理論：音価と拍子	音価、拍子を学び、演奏につなげる。
8	音楽理論：拍子とリズム遊び	様々なリズムを学び、演奏出来る曲を増やす。
9	子どもの歌：幼児歌曲歌唱	様々な幼児歌曲を知り、音名、音価、拍子を理解した上で歌唱できるようになる。
10	子どもの歌：幼児歌曲伴奏	様々な幼児歌曲を知り、音名、音価、拍子を理解した上で伴奏しながら歌唱できるようになる。
11	子どもの歌：わらべうた歌唱	わらべ歌を歌唱し、リズム、拍子を身体で表現できるようになる。
12	子どもの歌：わらべうた伴奏	身体で表現できるようになったリズム、拍子を伴奏しながら歌唱できるようになる。
13	子どもの歌：わらべうた手あそび	身体で表現できるようになった音楽に手遊びをつけることでより幼児を意識した演奏ができるようになる。
14	弾き歌い発表の練習：選曲	１５回目の授業で行う弾き歌いの発表に向けて個人練習を行う。
15	弾き歌い発表の練習：個人レッスン	弾き歌いの個人発表を行う。幼児を意識した演奏を心がける。